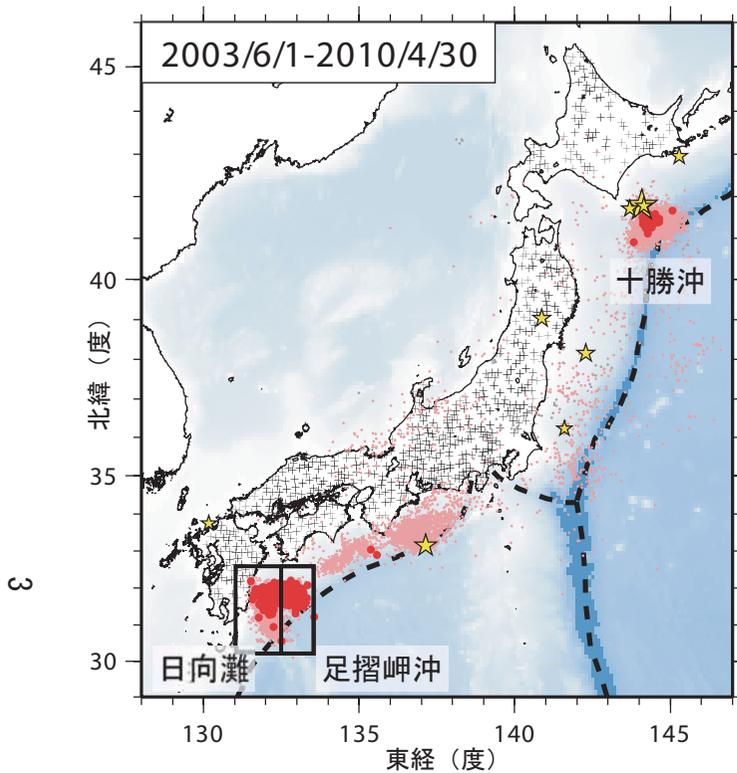
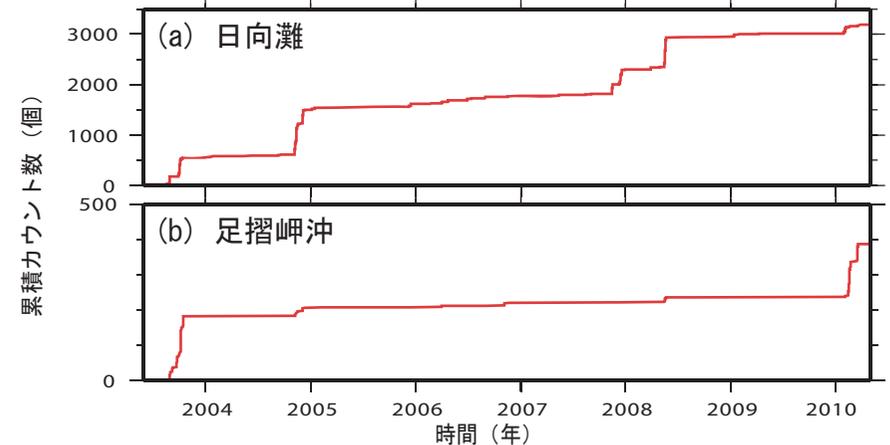


日本周辺における浅部超低周波地震活動（2010年2月～2010年4月）

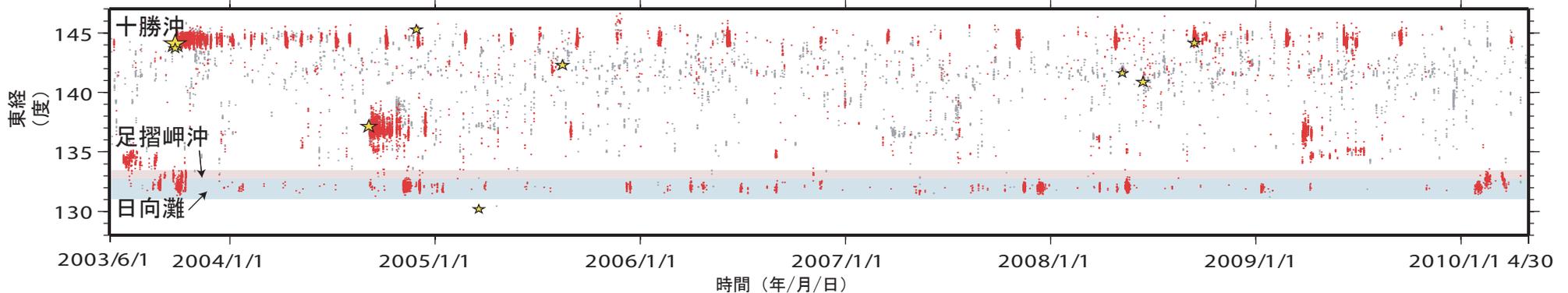


- 日向灘～足摺岬沖で1月下旬～3月下旬に活発な超低周波地震活動。（2月中旬以降の活動は、主に足摺岬沖で発生）
- 足摺岬沖における活発な活動は、2003年10月以来。
- 十勝沖においても3月下旬に小規模な超低周波地震活動

第1図．2003年6月1日から2010年4月30日までの期間に検出されたイベントの震央分布。Asano et al. (2008) の手法によって検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動検測震源と照合し、対応する地震が見出されたイベントを灰色丸印で、それ以外を赤色（2010年2月1日以後）および桃色（1月31日以前）の丸印でそれぞれ示す。赤色および桃色丸印のイベントの多くは、周期10秒以上に卓越する超低周波地震である。また、期間内に発生したM7以上の地震の震央を黄色星印で示す。



第2図．(a) 日向灘、および (b) 足摺岬沖における検出イベントの累積カウンタ数の時間変化。幅60秒間の解析時間窓を15秒毎に設定し、それぞれの解析時間窓内にイベントが検出される度に1カウントと数えるよう定義した。



第3図．2003年6月1日から2010年4月30日までの期間に検出されたイベントの時空間分布。検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動検測震源と照合し、対応する地震が見出されたイベントを灰色丸印で、それ以外を赤色丸印でそれぞれ示す。星印は第1図に同じ。